

平成 23 年度 低温研共同研究集会

「北太平洋の生物地球化学過程に果たす環オホーツク圏の海洋循環・物質循環の役割」

研究代表者：安田一郎

日時：12月5日（月）13：00 ～ 7日（水）15：30

場所：北海道大学 低温科学研究所 講堂

12月5日（月）

13：00 - 13：10 開会挨拶 安田一郎（東大大気海洋研）

13：10 - 13：25 Overview 西岡純（北大低温研）

セッション：潮汐混合・海水交換（Ⅰ）

座長：中村知裕

13：25 - 13：50 八木雅宏・安田一郎（東大大気海洋研）

「ブッソル海峡の乱流強度についての観測的研究」

13：50 - 14：15 伊藤幸彦・安田一郎・八木雅宏・長船哲史・金子仁（東大大気海洋研）・

西岡純（北大低温研）・中塚武（名大）・Yuri N. Volkov（FERHRI）・田中祐希・
近田俊輔（東大大気海洋研）

「ウルップ海峡の乱流強度と励起過程」

14：15 - 14：40 阿部祥子（北大院環境）・中村知裕（北大低温研）

「大振幅内部波の砕波に伴う鉛直混合過程」

14：40 - 15：05 長船哲史・池谷透・伊藤幸彦・田中祐希・金子仁・八木雅宏・近田俊輔・
安田一郎（東大大気海洋研）・Yuri N. Volkov（FERHRI）

「北部千島列島周辺海域における水塊・流速観測」

15：05 - 15：30 勝又勝郎（JAMSTEC）・小野数也（北大低温研）

「2001年ブッソル海峡集中観測」

15：30 - 15：45 休憩

セッション：潮汐混合・海水交換（Ⅱ）

座長：伊藤幸彦

15：45 - 16：10 中村知裕（北大低温研）

「千島列島域における 順圧潮流による小規模渦生成」

16：10 - 16：35 島田浩二（東京海洋大）・久保川厚（北大地球環境）

「不安定な沿岸流の非線形発展 一渦による輸送、拡散を考える一」

16：35 - 17：00 津旨大輔・坪野考樹（電中研）

「渦解像度北太平洋モデルにおけるトレーサの挙動」

17:00 - 17:25 田中祐希・安田一郎・羽角博康 (東大大気海洋研)・建部洋晶 (JAMSTEC)・
長船哲史 (東大大気海洋研)

「潮汐混合 18.6 年周期変動が北太平洋の気候変動に及ぼす影響」

17:25 - 17:40 ディスカッション

18:30 - 懇親会

12月6日 (火)

セッション：オホーツク海・北太平洋熱塩循環 座長：上野洋路

9:00 - 9:25 大島慶一郎 (北大低温研)・二橋創平 (苫小牧高専)・中野渡拓也・若土正暁
(北大低温研)・S. C. Riser (UW)

「オホーツク海の家氷とその変動が熱塩循環・熱塩収支に与えるインパクト」

9:25 - 9:50 柏瀬陽彦 (北大院環境)・大島慶一郎 (北大低温研)・二橋創平 (苫小牧高専)
「オホーツク海における海氷生産量の長期変動と中層水の変動との関係」

9:50 - 10:15 上原裕樹 (北大低温研)・Andrey A. Kruts・Yuri N. Volkov (FERHRI)・
三寺史夫・中村知裕 (北大低温研)・小埜恒夫 (中央水研)

「Okhotsk 海の経年変動に及ぼす Bering 海の影響」

10:15 - 10:30 休憩

10:30 - 10:55 松田淳二 (北大院環境)・笹島雄一郎 (三菱総研)・三寺史夫・中村知
裕 (北大低温研)・羽角博康 (東大大気海洋研)

「オホーツク海・北太平洋熱塩循環モデリング」

10:55 - 11:20 中野渡拓也・中村知裕・内本圭亮・三寺史夫・大島慶一郎 (北大低温研)・
羽角博康 (東大大気海洋研)

「近年の地球温暖化に伴うオホーツク海中層水温の昇温メカニズム」

セッション：物質循環・生態系 (I) 座長：内本 圭亮

11:20 - 11:45 植松光夫 (東大大気海洋研)・岩本洋子 (名大院環境学研究所)

「夏季の北太平洋亜寒帯域とその縁辺海表面水における懸濁粒子中の生物起源・地殻
起源元素の挙動」

11:45 - 12:10 渡邊豊 (北大地球環境)

「化学トレーサーから見たオホーツク海の炭素吸収変動」

12:10 - 13:10 昼食

13 : 10 - 13 : 35 池谷透 (東大大気海洋研)

「オホーツク海・アリューシャン列島周辺海域の夏季の表層プランクトン群集と栄養塩類動態」

13 : 35 - 14 : 00 野坂裕一 (北大地球環境)・鈴木光次 (北大地球環境)・伊佐田智規 (北大水産)・齊藤宏明 (水総研)・津田敦 (東大大気海洋研)・服部寛 (東海大)・山下洋平 (北大地球環境)・高橋一生 (東大院農学生命)

「西部北太平洋亜寒帯域における基礎生産力、光合成特性、および透明細胞外重合体粒子 (TEP) 分布の特徴」

14 : 00 - 14 : 25 宗林留美 (静岡大)

「オホーツク海における溶存有機炭素の分布と輸送」

14 : 25 - 14 : 50 山下洋平 (北大地球環境)

「太平洋における chromophoric dissolved organic matter の分布」

14 : 50 - 15 : 05 休憩

セッション：物質循環・生態系 (II)

座長：上原裕樹

15 : 05 - 15 : 30 三角和弘 (電中研)

「北太平洋の鉄循環モデリングの進展」

15 : 30 - 15 : 55 内本圭亮・中村知裕・西岡純・三寺史夫 (北大低温研)・三角和弘・津旨 大輔 (電中研)

「オホーツク海の鉄循環シミュレーション」

15 : 55 - 16 : 20 南秀樹 (東海大)・西岡純 (北大低温研)・中塚武 (名大)・加藤義久 (東海大)

「オホーツク海における親生物元素および金属元素の堆積過程」

16 : 20 - 16 : 35 休憩

16 : 35 - 17 : 00 小埜恒夫 (中央水研)・葛西広海 (北水研)

「北水研によるオホーツク海南西部の海洋環境調査」

17 : 00 - 17 : 25 西岡純 (北大低温研)

「海氷がオホーツク海の物質循環と生物生産に及ぼす影響 一流氷は栄養物質を運んで豊かな生態系を支えているのか？」

17 : 25 - 17 : 50 漢那直也 (北大院環境)・西岡純 (北大低温研)

「南部オホーツク海氷中に含まれる栄養塩と鉄の定量的評価」

17 : 50 - 18 : 10 ディスカッション

12月7日(水)

セッション：北極海の季節海氷域

座長：島田浩二

9:00 - 9:25 川口悠介・伊東素代・西野茂人 (JAMSTEC)

「2010年みらい北極航海で観測された巨大暖水渦の詳細観測」

9:25 - 9:50 川合美千代 (東京海洋大)

「北極海カナダ海盆地における生物化学的变化」

9:50 - 10:15 久万健志 (北大水産)

「北極海・ベーリング海大陸棚及び海盆地における鉄の挙動とその起源」

10:15 - 10:40 渡邊英嗣 (JAMSTEC)・岸道郎 (北大水産)・石田明生 (富士常葉大)・
野口 (相田) 真希 (JAMSTEC)

「北極海生態系モデル開発の進捗状況と今後の展望」

10:40 - 10:55 休憩

セッション：陸域－海域リンケージ

座長：津旨大輔

10:55 - 11:20 白岩孝行 (北大低温研)

「アムール川流域における溶存鉄の挙動：アムール・オホーツクプロジェクトの成果より」

11:20 - 11:45 三寺史夫 (北大低温研)・藤崎歩美 (NOAA GLERL)

「アムール川河口・北西陸棚域の高解像度シミュレーション」

11:45 - 12:10 中田聡史・石川洋一・淡路敏之 (京大院理)・印貞治・中山智治・島茂
樹 (海洋財団)・齊藤誠一 (北大水産)

「陸海連環研究のための結合物理モデル：噴火湾を例に」

12:10 - 13:10 昼食

セッション：今後の展望

座長：三寺史夫

13:10 - 13:35 江淵直人 (北大低温研)

「人工衛星による海面観測の現状と展望」

13:35 - 14:00 西岡純 (北大低温研)

「今後の展望、2014年観測計画」

14:00 - 15:30 総合討論